

トレーニングジムの経営状況について

中川 雅夫 議員



【問】いこまい館ジムの経営状況はどうか。

【企画部長】利用者数、収入額ともに目標値に近い実績を上げており、年間約270万円の利益が期待できる。当初計画に見合う状況である。

【問】夜9時閉館のいこまい館で、ジムは10時までの営業だが、セキュリティに問題は。

【健康部長】案内係を新たに1人置き、防犯や安全管理に努めている。



夜間（9時～10時）のいこまい館

施設サービス株

【問】労働者代表の選出に会社が干渉したのは労働基準法違反だ。

【副町長】誤解である。会社は法令に違反することはない。

【問】東郷町から会社への委託料は平成18年度2億3445万円、19年度2億311万円、20年度2億745万円であった。委託料の大幅引下げが行われているが、町長の方針によるものか。

【町長】厳しい財政に協力してもらっている。

【問】同じ2年間に1800万円も従業員の賃金が削減された。賃下げは労働者の士気にかかわるのではないか。

【町長】適正な労賃を求めたもので、低賃金を押し付けたわけではない。

【問】会社の設立目的には雇用創出があった。

【町長】現在も69人を雇用し、その8割は町内の人である。設立目的にも立派に貢献している。

【問】一人株主をやめて、複数株主にしては。

【町長】3～5年の内には、そうなりたい。

一般質問

下水道の整備は必要だが“金食い虫”より効率性をめざせ

山口 洋子 議員



【問】下水道工事は7割が家と家をつなぐパイプの費用と聞くが、調整区域についての下水道計画は。

【経済建設部長】町内下水道区域は999haで、市街化区域（516ha）と調整区域内（483ha）である。計画区域外の調整区域は、将来とも下水道は整備しない。

【問】調整区域でも白土の市街化地域に接したマンション等の計画は。

【経済建設部長】調整区域の整備計画は①市街化想定区域（その地区の開発計画が進めば下水道も



下水道工事の様子

同時に計画し施行する区域）②周辺集落（現在、調整区域で下水道へ接続する方が適当であると判断される区域）があり、白土のマンションは②に該当する。が、町の財政状況や国の補助金の動向、費用対効果の面などと、隣接するマンション等の下水接続はかなり先のことになる。

【問】受益者負担金は。

【経済建設部長】現在までの負担区とは異なる金額となると想定される。

町ホームページ

【問】審議会などの議事録公開はわかりやすい見せ方を工夫すべきでは。

【企画部長】町のホームページは、見やすさ、読みやすさ、使いやすさ等、見る側への配慮が基本。引き続き、この基本を意識して努める。